

## 令和7年度第2回 今治圏域災害医療対策会議 議事概要

- 1 日 時 令和8年2月4日(水) 15:30~16:25
- 2 場 所 東予地方局今治支局 4階大会議室
- 3 出席者 委員11名(うち代理出席1名)、説明者1名  
事務局4名
- 4 傍聴者 0名
- 5 議題及び主な内容

### (1) 令和7年度四国ブロックDMAT実働訓練の実施結果について

医療対策課から、令和7年度四国ブロックDMAT実働訓練の実施結果についてご説明いただいた。

#### <質疑応答・主な意見>

- ・(事務局 企画課) 今回の訓練は、非常に緊迫した状況を想定したもので、被災状況の把握にも混乱が生じた。実際の災害時には、ライフラインの断絶も想定されることから、今後、多様な災害を想定した体制づくりを一層進めたい。
- ・(高月副会長) 大規模災害が発生した場合、今治地域では県立今治病院がDMAT活動拠点本部となるが、今年度は、各県のDMATが10チームぐらい来て、済生会病院や福祉施設等で様々なミッションを遂行してもらった。

県立今治病院での訓練も想像以上に業務が多く大変だったが、訓練を通して、災害時の動きを体験できれば、実際の災害時にも使えるようになると思う。

- ・(岡田会長) 済生会病院が浸水する想定だったが、済生会病院のベッド数は約200床で、訓練のDMATロジ隊から断水のため毎日200トンの水が必要との要請があった。今治市では、1日200tの水で配達できるのか。また、今治市が保有する浄水車を、済生会病院だけのために持ってくることはできるのか。

⇒(今治市防災危機管理課) 今治市が保有する浄水車の1日の処理能力は最大24万リットルであるが、済生会病院1ヶ所だけと言うのは難しい。

備蓄保存水もあるが、500ミリリットルのペットボトル入りのものである。通常の給水車についても、数トンしか積載できず、島しょ部と合わせても、数台しかない。

なお、生活用水だけであれば、タンク車を持っているところと協定を結んでおり、配給することが可能になると思っている。

- ・(宮嶋委員) 済生会今治病院で勤務しているが、透析患者が180人くらいおり、

大量の水が必要であるが、水に対する脆弱性があるので、当院でも水害に対する対策を強化しないといけない話が出ている。

- ・(医療対策課) 昨年度は、香川県での訓練を見たが、水の問題として、1回に運べる量に制約があり、外から持ってくると時間がかかるため、限られたリソースの中でどのようにしていくのかが課題と感じた。

また、実際に浸水している中での患者の搬送にあたっては、消防署で持っている救命ボート等も活用させていただきながら、搬送することを検討していかないといけないと、今回の被災想定等を検討していく中で感じた。

さらに、医薬品庫が、1階か地階にある医療機関は、医薬品が全部使えなくなることを想定し、薬局や薬事コーディネーターと連携し、医薬品をどのように供給していくかということも課題として感じた。

また、この今治圏域災害医療対策会議で、関係機関の情報を持ち寄りながら、どのように対応していくのか方針検討するための訓練ができれば良かったと考えている。

## (2) 報告事項

今治市防災危機管理課から、(資料1)【概要版】今治市地域防災計画・今治市水防計画により、令和7年3月修正の概要をご説明いただいた。

## (3) その他

○事務局より、災害時連絡用タブレット端末の回収に伴い、令和8年度から新たにチャットツールの導入を検討していることを説明した。(次回会議で詳細を説明予定)

## <質疑応答・主な意見>

新たな質問や意見はなく、議題を終了した。